

Effectiveness of community based natural resource management for forest conservation and livelihood improvement in Cambodia

ルン, ピチダラ

<https://hdl.handle.net/2324/1959171>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (農学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名 : ルン ピチダラ (Lonn Pichdara)

論文題名 : Effectiveness of community based natural resource management for forest conservation and livelihood improvement in Cambodia
(カンボジアにおける住民参加型自然資源管理による森林保全および生計向上効果の検討)

区 分 : 甲

論 文 内 容 の 要 旨

住民参加型の自然資源管理(CBNRM: Community Based Natural Resource Management)は地域の環境保全と住民の生計向上の両方に貢献する方策として、特に開発途上国で広く実施されている。CBNRMの有効性に関する研究はこれまでも多くみられるが、小数の事例を対象とした定性的な議論が多く、BACI (Before-After-Control-Intervention: 事前事後/介入有無) デザインに基づいた定量的な研究は少ない。最近では少数事例を統合したメタ解析が行われるようになってきたが、一つの国の全土を対象とした包括的な研究もほとんどみられない。そこで本研究では、CBNRMの有効性をBACI デザインに基づいて定量的に検証することを目的として、カンボジアにおける住民参加型林業(コミュニティ林業)と住民参加型エコツーリズムを対象に森林保全と生計向上効果を検討した。

まず、カンボジア全土に分布する約580カ所のコミュニティ林業地(CF: Community Forestry)の内、1994年から2005年に設定された197カ所を対象として、衛星画像から作成された既存の全球森林減少マップを用いて、CFによる森林保全効果とその要因を検討した。2005年から2016年までの11年間の森林減少率について交錯因子を考慮したマッチング法を用いて比較した結果、CFの内側の森林減少率はCFの外側よりも11%低いことが分かった。また、CF側内の森林減少確率の傾向を一般化線形混合モデルにより推定した結果、CFの面積が小さく、標高が高く、傾斜が急で、集落、市場およびCFの境界から遠い場所で森林保全効果が高くなることを明らかにした。

次に、カンボジアに50カ所以上ある住民参加型エコツーリズム(CBET: Community Based Ecotourism)のなかでも成功事例として有名なチャンボックCBETを対象に、その森林保全効果を検討するために、衛星画像を用いた解析と地域住民の意識調査の結果を比較した。衛星画像による解析では、2000年から2012年までの森林減少率について、マッチング法を用いて比較した結果、CBETの内側の森林減少率は外側よりも2%低いことが分かった。179世帯を対象としたインタビュー調査結果では、64%の世帯が「CBET内で森林資源は増加している」と回答し、75%の世帯で「地域住民によって森林が保護できる」ことを認めており、CBETの森林保全効果をより多くの住民が認識していることが分かった。

さらに、チャンボックCBETによる生計向上効果を検討するために、CBETに参加している77世帯と参加していない96世帯のインタビュー結果を比較した。その結果、CBETからの収入は中央値で1.22米ドルほどしかなく、毎月の総収入(中央値)はCBET参加世帯(74米ドル)と不参加世帯(64米ドル)で有意な差はなかった。収入の世帯間のばらつきをジニ係数で評価したところ、農業収入や非木材林産物収入などと比較してCBETからの収入は世帯間の不平等さが最も大きいこと

が分かった。また、生計の状況に与える要因を検討した結果、CBET 導入前の 1998 年～2002 年では森林資源採取や農業生産が主体であり、CBET 導入後の 2008 年～2011 年では雇用収入の影響が大きいことが分かったが、CBET 参加者と不参加者との間でそれらの要因に違いはほとんどみられず、CBET による生計向上効果は認められなかった。

以上のように、カンボジア全土に広がる 197 カ所の CF とカンボジアで代表的な 1 カ所の CBET を対象にそれらの効果を BACI デザインに基づいて定量的に検討した結果、CBNRM の森林保全効果は認められるものの、生計向上効果はほとんどみられないと結論付けた。